



IMC TOKYO
2011
Interop Media Convergence

参加企業募集のご案内



実施概要

名称	IMC Tokyo 2011 - Interop Media Convergence - (アイエムシートウキョウ - インターロップメディアコンバージェンス)
会期	2011年6月8日(水)・9日(木)・10日(金)
会場	幕張メッセ / 東京ベイ幕張
主催	IMC Tokyo 2011 実行委員会
運営	株式会社ナノオプト・メディア
運営協力	株式会社映像新聞社
後援 (2010年実績)	総務省、経済産業省、日本放送協会、社団法人映像文化製作者連盟、社団法人全日本シーエム放送連盟、社団法人デジタル放送推進協会、社団法人デジタルメディア協会、社団法人全日本テレビ番組製作社連盟、社団法人電子情報技術産業協会、社団法人日本アド・コンテンツ制作社連盟、社団法人日本映像ソフト協会、社団法人日本ケーブルテレビ連盟、社団法人日本通信販売協会、社団法人日本ポストプロダクション協会、社団法人日本民間放送連盟、財団法人デジタルコンテンツ協会、一般社団法人IPTVフォーラム、特定非営利活動法人デジタルシネマ・コンソーシアム、特定非営利活動法人日本ビデオコミュニケーション協会、協同組合日本映画撮影監督協会、Open IPTV Forum
同時開催	Interop Tokyo 2011、デジタルサイネージジャパン2011

実行委員会編成（2010年実績）

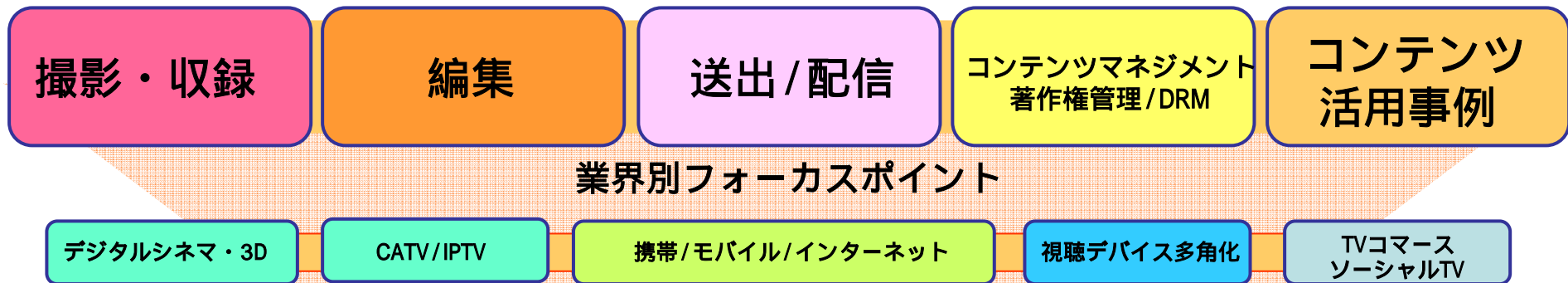
実行委員長	
上瀬 千春	株式会社フジテレビジョン 技術開発局 執行役員技師長
実行委員	
藤沢 秀一	日本放送協会 総合企画室(経営計画) 統括担当部長
宮林 聡	日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術戦略センター長 兼 技術戦略部長
吉野 洋雄	株式会社テレビ朝日 技術局 エグゼクティブエンジニア 局次長待遇
杉田 譲二	株式会社東京放送(TBS) 事業本部 コンテンツ事業局 デジタル事業センター長
山口 一仁	株式会社テレビ東京 技術局次長 兼 技術開発部長
香取 啓志	朝日放送株式会社 技師長
原田 由佳	NTTドコモ コンシューマサービス部 コンテンツ担当部長
信井 文寿	株式会社映像新聞社 代表取締役社長
中村 秀治	株式会社三菱総合研究所 社会システム研究本部 情報通信政策研究グループリーダー
武井 克明	株式会社パワープレイ 代表取締役社長

IMC Tokyo 2011コンセプト

真の『高付加価値サービス』到来

あらゆる角度からのマルチメディアプラットフォームの模索

-業界別に向けた最新技術動向を図る



- 適応範囲とビジネスモデルの検証 -

高付加価値サービスの実現

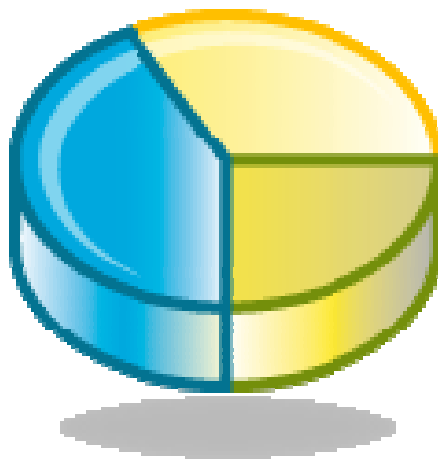
高付加価値を実現するマルチメディアプラットフォームへ

CATV/IPTV 最新技術動向
視聴デバイスの多様化対応
携帯・モバイル・インターネット連携対応
デジタルシネマ・3D 最新動向
TVコマース/ソーシャルTV最新動向

参加メリット

導入に向けた商談が可能

製品やサービスの紹介
新規顧客開発
ダイレクトな商談・営業



協業先の開拓

新規顧客開発
新規ビジネスモデルの提唱

ブランディング

積極的な人的交流
情報交換
ユーザの声
新製品発表
既存顧客の価値の向上



IMC Tokyo 2010 来場実績

() 2010年実績

放送・映像関係者 38% (30%)

広告/デザイン/制作会社、テレビ放送、ラジオ放送、ケーブル放送、
ビデオプロダクション/ホストプロダクション、グラフィック/
アニメーション/特殊効果、フィルム/映画、
デジタルファイルの製作/管理/配信、コンテンツ制作/管理/配信

インターネット系事業者 10% (15%)

インターネットサービスプロバイダー、Web/インターネット
/オンラインビジネス、通信事業者

販売パートナー候補 11% (15%)

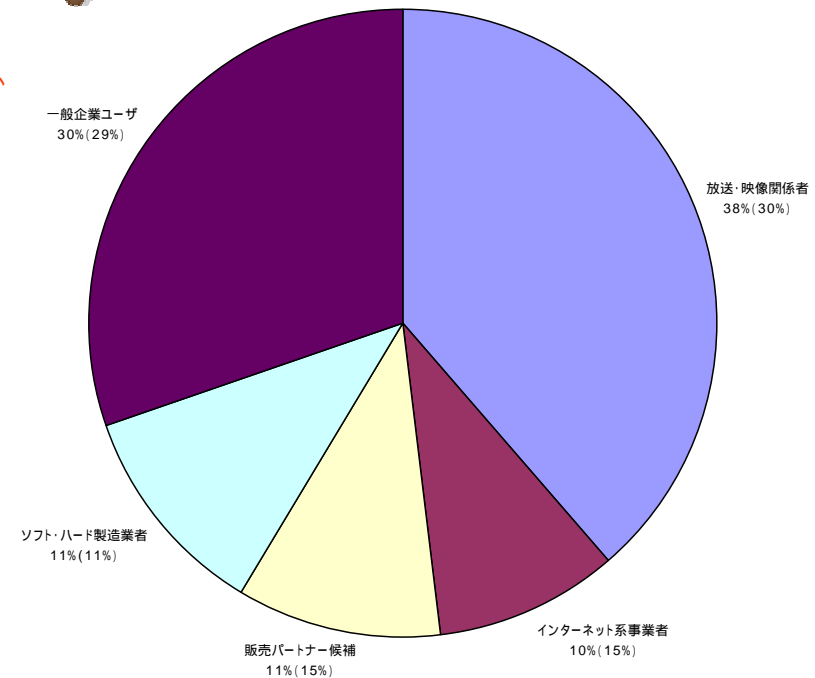
システムインテグレーター、コンサルティング、
コンピュータ小売/販売代理店、商社/リセラー (IT関連)

ソフト・ハード製造業者 11% (11%)

ソフトウェア製品製造業、コンピュータメーカー/周辺機器メーカー、
ネットワーク/通信関連機器メーカー

一般企業ユーザー 30% (29%)

製造業(非IT)、商社/卸/小売業(非IT)、金融/証券/保険、建設/不動産、運輸/物流、病院/医療機関、
印刷/出版、研究所(民間/公共)、官公庁/協会/団体、農林/水産/鉱業、サービス業(非IT)

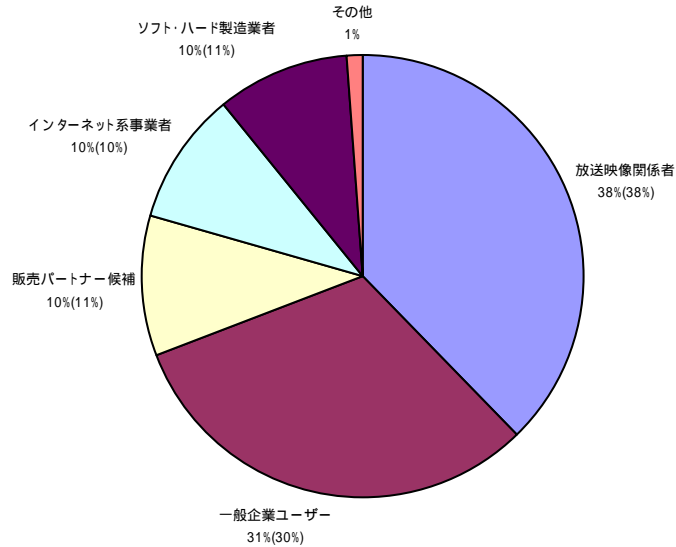


「放送・映像関係者」の比率が大きく増加している。また、一般企業ユーザーの比率も30%と堅調な数値をキープしており、興味の高さを窺わせる。

IMC Tokyo 2010 来場実績



<<業種>>



放送映像関係者	38%
一般企業ユーザー	31%
販売パートナー候補	10%
インターネット系事業者	10%
ソフト・ハード製造業者	10%

映像関係者 38% (38%)

広告/デザイン/制作会社、テレビ放送、ラジオ放送、ケーブル放送、ビデオプロダクション/ホストプロダクション、グラフィック/アニメーション/特殊効果、フィルム/映画、デジタルファイルの製作/管理/配信、コンテンツ制作/管理/配信

インターネット系事業者 10% (10%)

インターネットサービスプロバイダー、Web/インターネット/オンラインビジネス、通信事業者

販売パートナー候補 10% (11%)

システムインテグレーター、コンサルティング、コンピュータ小売/販売代理店、商社/リセラー(IT関連)

ソフト・ハード製造業者 10% (11%)

ソフトウェア製品製造業、コンピュータメーカー/周辺機器メーカー、ネットワーク/通信関連機器メーカー

一般企業ユーザー 38% (30%)

製造業(非IT)、商社/卸/小売業(非IT)、金融/証券/保険、建設/不動産、運輸/物流、病院/医療機関、印刷/出版、研究所(民間/公共)、官公庁/協会/団体、農林/水産/鉱業、サービス業(非IT)



注力ポイント

デジタルシネマ最新動向

ISOにおけるデジタルシネマ規格化同行についての最新情報の紹介、デジタル撮影、デジタル現像、カラーグレーディング、カラーコレクション、カラーマネジメント、DCDM、DCP、KDM、上映までを一挙に紹介します。デジタルシネマの効果を計るポイントとして 低コスト化=例えば撮影時のフィルムレスによる効果など 製作の高能率化=デジタル編集機器との親和性、劣化が少ない、編集作業の容易性など 高品質化=劣化が少なく、耐ダビング性に優れている 高機能化=セキュリティ管理により流出防止、履歴管理や一括管理が可能など 全般的な効果=あらゆる意味で質の向上が実現可能なソリューション、並びに3Dなどにも注目しご紹介いたします。

CATV / IPTV 最新動向

IPネットワーク網を利用した映像配信のサービスは、放送、家電、通信など様々な立場の企業が連携し次世代の情報アクセス手段として注目されています。付加価値の高いポテンシャルをもつメディア『CATV』『IPTV』が可能にする新サービスへ向けての提案が急務。ポイントとして3つ。広がる視聴端末における高品質映像の最適化と支えるネットワーク配信技術。CATV/IPTVプロダクト開発におけるミドルウェア・ソフトウェア技術最新動向。CATV/IPTV広告モデルと市場拡大の提唱(顧客ターゲティングモデル・新サービス事業モデルなど)

携帯・モバイル・インターネット連携

2010年にも商用サービスが始まる次世代の無線通信規格「LTE (Long Term Evolution)」実効ベースの通信速度が数十Mbpsの見込み。モバイルブロードバンドから一歩進む。携帯電話やスマートフォンといったコンシューマ端末、ノートパソコン等のモバイル機器ホームネットワーク、ビデオソリューション、デジタルサイネージ端末をはじめ多様なアウトプットとの連携から生み出されるサービスモデル、ビジネスモデルの創出が求められています。

視聴デバイス技術の高度化

液晶・マルチビジョン・プロジェクター映写機・LED・テレビ・携帯電話などあらゆる視聴デバイスとモバイル・インターネット技術の連携によって、ますます多様化する顧客ニーズにキャッチアップできる環境が整いつつあります。目まぐるしく変わる視聴デバイスの変化の中で、撮影・編集・送出・コンテンツマネジメント並びに著作権管理などの最新技術動向を踏まえ、広がる視聴デバイスに向けての対応が求められています。

TVコマース・ソーシャルTV

あらゆる視聴デバイスとモバイル・インターネット技術の連携によって、次世代サービスの形が模索されています。ますます多様化する顧客ニーズにキャッチアップできる環境が整う中でソーシャルメディアをフル活用したクロスメディア・コミュニケーションから新しいビジネスモデルが次々と生み出されています。

出展対象製品

撮影機器・製品	ワンセグ・モバイル関連製品	デジタル広告制作ソリューション
IPTV関連製品・ソリューション	通信ネットワーク・サービス	販売促進ソリューション
DI製品ソリューション	衛星通信システム・サービス	顧客情報分析ソリューション
ストレージ製品	映像/動画コンテンツ制作	Webサイトソリューション
ミドルウェア製品	映像コンテンツ配信システム	Web解析ソリューション
STB製品/ソリューション	3D映像関連システム	CMS関連ソリューション
組み込みソフトウェア製品	各種ソフトウェア	モバイル関連ソリューション
組み込みミドルウェア製品	コンテンツ管理・DRM	ワイヤレス関連ソリューション
放送機器・機材製品	テレビコマーシャルソリューション	Eコマースソリューション
効果測定機器・製品	教育関連ソリューション	ECサイト構築ソリューション
	電子決済ソリューション	デジタルシネマ関連ソリューション

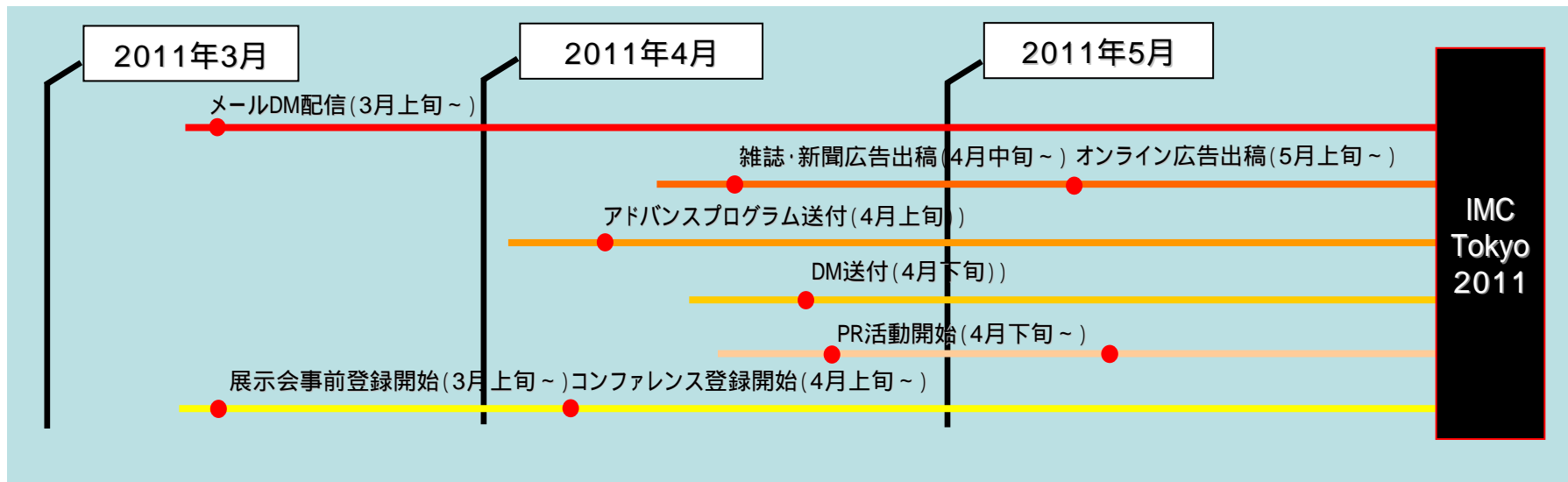
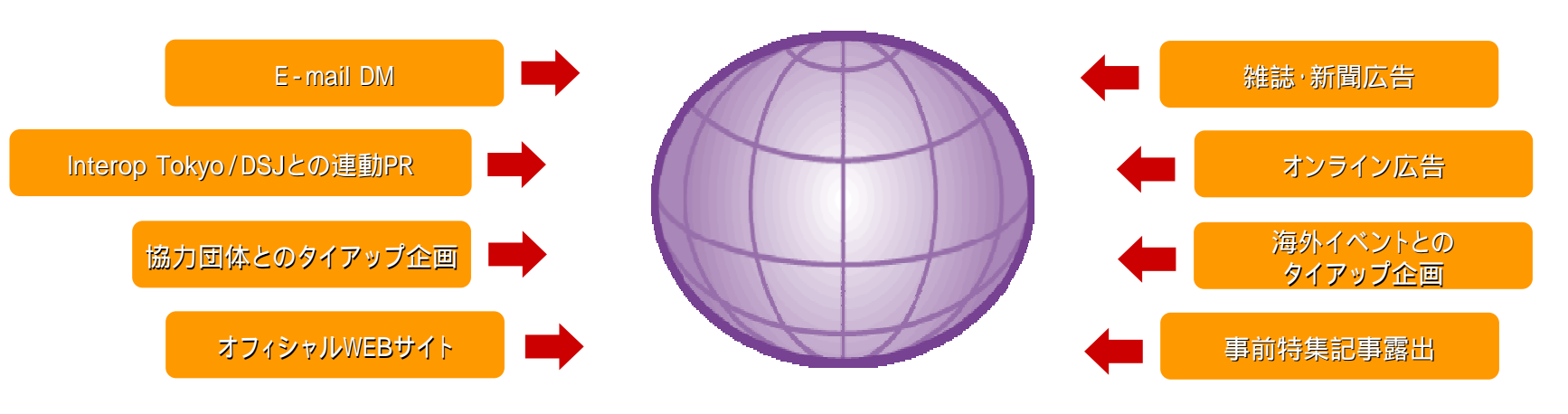
来場予定者（業種）

民間放送事業者 CATV関係事業者 NHK 放送機器メーカー 民生機器メーカー 産業機器メーカー
ポストプロダクション プロダクション 制作 クリエイター 広告代理店 周辺機器メーカー
通信事業者 ISP ネットワーク・通信関連機器メーカー インターネットビジネス事業者 教育機関
コンピューターメーカー インテグレーター 商社 官公庁

来場予定者（部門）

CIO/経営企画担当部門	マーケティング部門	営業企画部門	営業推進部門
販売促進担当部門	Web担当部門	技術企画部門	情報システム担当部門

プロモーション & スケジュール概要案



出展小間に関して

早期申込割引:2010年11月26日までのお申込みで
出展スペース料金から、5%OFFの適用となります。

<< 1小間 ~ (3m x 3m / 9㎡) 出展内訳 >>

出展スペース料金

バーコードリーダーレンタル料金(1社1台)

公式サイトへの貴社PR掲載

展示会招待券の提供(1小間につき100枚)

* 但し、各申し込み期限を過ぎた場合は、上記のメリットが提供されない場合がございます。ご了承ください。

小間位置は、申込日、出展規模、出展内容、出展実績等を考慮のうえ、主催者が決定し、
出展社説明会で発表いたします。

小間費用にはインターネット回線は含まれておりません。オプションとなります。
予めご了承くださいませ。

【お問い合わせ】

IMC Tokyo 2011運営事務局

株式会社ナノプト・メディア

IMC Tokyo 2011営業担当

TEL: 03-6431-7801 FAX: 03-6431-7850

Email: sales-info@f2ff.jp



NANO OPT Media